

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第233号



今回のテーマ **最先端技術によって課題解決をめざす「スマートシティ」**

都市が抱える様々な問題に対して、AI(人工知能)などを利用して解決をめざす「スマートシティ」の構築が進んでいます。今回は「スマートシティ」と、国内における先端技術の実証都市として注目されている「ウーブン・シティ」について調べてみました。

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

1. スマートシティ

「スマートシティ」とは、ICT(情報通信技術)やビッグデータなどの先進技術の活用により、都市が抱える諸問題の解決を図り、人々の生活の質を高め、持続的な経済発展を可能とさせる都市のことです。各企業や団体の活動の方向性を揃えることによって、効果的な産業の創出・育成や効率的なエネルギー利用、そして、治安維持や子ども・高齢者の見守り、交通渋滞の解消、災害対策などを実現することで、生活の質の向上やサービスの効率化をめざしています。近年では、世界的にこうした都市の構築が増加しています。これは、2050年までに世界人口の約70%が都市に集中すると見込まれる中、より効率的な交通網や環境などへの対策が急務となっていることが背景として挙げられます。

海外の事例を見ると、オランダのアムステルダムでは、スマートメーターによる消費電力の可視化や、冷暖房や照明を効率的に管理したスマートビルディングの建設、EV(電気自動車)の普及促進など、環境問題に着目したプロジェクトが進められています。そして、中国の杭州市では、AIが交通監視カメラの情報を分析することで、都市全体の信号をリアルタイムで最適化することが可能となり、深刻な交通渋滞が大幅に緩和されているようです。

ステップアップ

スマートシティ構築の課題の1つとされるのが、セキュリティ問題です。様々な課題の解決には、データを収集し、解析することが必要になります。しかし、ネットワーク接続には常にセキュリティリスクが存在することなどから、データの保護や転用を防止するセキュリティ対策への取り組みも重要になります。



(次のページへ続きます)

国内では、東京都の竹芝エリアにおいて、ソフトバンクや東急不動産などが中心となり、都市型スマートシティの構築が進められています。ロボティクスや、AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、5G(第5世代移動通信システム)、ドローンなどの幅広い領域でテクノロジーの検証を行なう計画となっており、スマートシティのモデルケース構築をめざしています。

スマートシティの構築を通じて、交通渋滞や環境汚染などの都市問題が解決に向かうようであれば、私たちの生活の質はより良いものになると見込まれます。こうしたことから、世界で進められるスマートシティ構築への取り組みとその拡がりには、今後も、多くの注目が集まると考えられます。

2. ウーブン・シティ



“ウーブン・シティ”は、2020年1月に開催された世界最大級のデジタル技術見本市「CES2020」において、トヨタ自動車が発想を発表した実証都市であり、住人が自動運転車やAI、ロボットなどの技術を使用しながら実証することで、交通事故や物流の担い手不足といった課題の解決をめざす場として注目されています。2021年2月に静岡県裾野市で建設が開始され、2025年までに人が住み始められるよう工事が進む予定となっています。なお、ウーブン・シティは進化し続ける街と位置付けられているため、完成時期については明らかにされていません。

ウーブン・シティは私有地であることから、道路交通法などの制約を受けることなく、比較的自由に都市設計ができます。計画では、地上には3種類の道が作られる予定となっており、移動や物流、物販など多目的に活用できる次世代EVであるe-Palette(イーパレット)などの、完全自動運転かつ排気ガスを出さないゼロエミッションのモビリティのみが走行する車両専用道、超小型モビリティと歩行者が共存する道、歩行者専用道となります。また、地下は物流向けの自動運転車のための走行とし、天候や歩行者などの影響を排除することによって、技術開発を進めやすい環境になるとみられます。

こうした街づくりは既に米国や中国などでも行なわれていますが、それらは政府や自治体が主導しており、そこに各企業が担当を受け持つ形で事業が進められています。ウーブン・シティのように一企業がすべてを手掛けるのは前例がなく、その成果に世界が注目しています。

交通などの個別分野に留まらず、都市全体の課題解決が実証されることで、国全体のスマートシティ構想へと発展し、新たな生活スタイルに繋がると期待されます。

掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

 facebook  twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ステップアップ

ウーブン・シティを英語表記にすると「Woven City」となります。「Woven」は「Weave」の過去分詞形であり、「織られた」を意味します。トヨタ自動車によると、網の目のように道が通る街の姿からこの名称をつけたようです。モビリティカンパニーへと変革することを宣言した同社がどのような街づくりをするのか、目が離せません。

